

國學院大學學術情報リポジトリ

学生懸賞論文発表 応募状況と選考経過

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://k-rain.repo.nii.ac.jp/records/181

学生懸賞論文発表

第一部門 (本学文学部・神道文化学部・別科在籍者)
入選

中山 陽介 (文学部日本文学科三年)

仮名成立史上の西三条第跡出土土器墨書仮名の位置付け

佳作

内野 真緒 (文学部日本文学科四年)

明治期の川柳と都々逸

杉山 武史 (別科神道専攻Ⅱ類二年) — 『團圓珍聞』の投書を中心に —

神宮の子良の童女における装束の変遷

— 遷宮の記録を中心に —

第二部門 (本学大学院文学研究科・専攻科在籍者)

佳作

田中 章博 (文学研究科史学専攻博士課程前期一年)

江戸時代後期における雅楽器への価値の付加に関する一考察

— 紀州徳川家・井伊家コレクションの笙を中心に —
(所属・学年は、応募当時)

平成二十七年年度の学生懸賞論文の 応募状況と選考経過

國學院雑誌編集委員会

本年度の学生懸賞論文の応募論文数は、文学部・神道文化学部学生・別科在籍者を対象とする第一部門六本、大学院文学研究科・専攻科在籍者を対象とする第二部門五本であった。昨年度二本であった第一部門の応募が六本、昨年度四本であった第二部門の応募が五本あったことは、たいへん喜ばしいことである。

選考過程で議論になったのは、表題と内容の整合性、オリジナリティ、問題提起が明瞭であるか否か、結論と照応しているか、論文中の学術上の述語の定義は適切か否か、論証過程に破綻がないか、当該課題の研究史が十分に踏まえられているか、日本語の表現は適切か、などであった。今後、懸賞論文に応募する際には、上記の点に、ぜひ留意してほしいものである。また、本年度の応募論文数は合計十一本と昨年度に比して増加したが、あらためて、学生懸賞論文の意義を周知し、意欲的な研

究成果が積極的に応募されることを期待したい。

なお、五月一八日に開催された國學院雜誌編集委員会において、査読の結果をふまえて厳正に審査した結果、次の一本を選、三本を佳作とした。慣例では各部門において入選・佳作は一本ずつであるが、今年度は優秀な作品がそろっていたため、第一部門においては二本の佳作を選出している。

第二部門（本学大学院文学研究科・専攻科在籍者）

佳作

田中 章博（文学研究科史学専攻博士課程前期一年）
江戸時代後期における雅楽器への価値の付加に関する一考察
— 紀州徳川家・井伊家コレクションの笙を中心に —

（所属・学年は、応募当時）

第一部門（本学文学部・神道文化学部・別科在籍者）

入選

中山 陽介（文学部日本文学科三年）
仮名成立史上の西三条第跡出土土器墨書仮名の位置付け

佳作

内野 真緒（文学部日本文学科四年）
明治期の川柳と都々逸―『團圓珍聞』の投書を中心に―

右の論文はいずれも、問題意識の持ち方、オリジナリテイ、実証性と資料提示の手順、論証結果などについての学術的な成果が評価されたものである。入選となった中山陽介氏の「仮名成立史上の西三条第跡出土土器墨書仮名の位置付け」に関しては、当該分野の画期的な業績として、完成度の高さが編集委員会において注目された。佳作となった論文については、学術論文としてやや不備な箇所が見られた。選評を参照され、さらなる学修、研究をすすめていただきたい。

杉山 武史（別科神道専攻Ⅱ類二年）
神宮の子良の童女における装束の変遷

— 遷宮の記録を中心に —